

city @ life

都市のしくみと暮らし

no.97
autumn
2010



特集

新しい公共交通——
生活支援ネットワークへ



表紙 — 富山ライトレール「PORTAM」
photo:佐藤 真(関連記事:p16)
裏表紙 — 和歌山電鐵貴志川線、貴志駅長の「たま」
photo:渡邊裕之(関連記事:p8)

特集

新しい公共交通 —
生活支援ネットワークへ

contents

| | | |
|------|---|----|
| 対談 | 本当の「公共」交通とは 土井 勉×谷口 守 | 2 |
| ルポ | 町と共に歩む地方鉄道 | 8 |
| ルポ | LRTでコンパクトシティ実現を目指す 富山市の「お団子と串」のまちづくり | 16 |
| ルポ | 地域に生きる路線バス それぞれの挑戦 | 26 |
| レポート | IT活用オンデマンド交通の利便性と経済性 | 34 |
| | back number・information | 40 |

特集

新しい公共交通 ——生活支援ネットワークへ



昨今「買い物弱者」なる言葉がよく聞かれる。高齢者を中心に、食料品など、日常的な買い物が困難な人々のことだ。不景気により、近くにあったスーパーや商店が撤退・閉店してしまう、あるいは、鉄道や路線バスが、採算があわずに廃線化し、身近な公共交通がなくなったということも原因となっている。従来は通勤・通学の足として、大きな働きをしていた公共交通も、人口の高齢化や減少の著しい進行により、果たすべき役割が変わっている。そんな中、公共としての社会的な役割、民間企業としての生き残りという、いわば相反する二つのベクトルを、「まちづくり」という視点から解決しようという試みが、成果を上げつつある。ミニマムでローカルなニーズにも応えられるような、新しい公共交通のあり方を考える。

photo: 斎藤夕子「埼玉県川越市、小江戸巡回バス」(関連記事:p26)